



『であい、ふれあい、そして未来へ』～自分を発揮し 求め続ける白川っ子の育成～

『＝節目をむかえます(2020年から2021年へ)＝』

本日はご多用の中、懇談会に出席いただきありがとうございました。「新型コロナウイルス感染症」予防に伴う制限のある行事を超えて、2学期が明日終了します。保護者・地域の皆様には本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございました。おかげさまで、制限のある中、各行事、日頃の学校生活においても、多くの白川っ子が学習に運動に委員会活動などに一生懸命取り組む学期となりました。1学期に引き続き、白川小学校の子どもたちの活動にはめざましいものがありました。

さて、明後日から冬休みになります。冬休みには、お正月、大晦日と言った日本的な風習にふれたり、クリスマス等もあります。また、日常生活にも制約がある中、感染症予防に努めながらの生活になると思います。

大晦日から1月1日午前0時を過ぎると元旦になり、これを『節目』として令和2年(2020年)から令和3年(2021年)に年が変わります。では、この『節目』とは、どういう意味があるか考えていきたいと思ひます。『節目』の読み方は二通りあり、一つはよく使われる『ふしめ』です。二つ目は『せつもく』という読み方です。今回は『ふしめ』について考えたいと思ひます。『節目』は『木材・竹などの節のあるところ』『物事の区切り目』という意味です。竹は中が空洞なのでそのまま伸びていくとあまり大きくなることはできません。竹の幹は、材料を最小限にして早く成長するために、中がパイプのような空洞になっています。幹の太さと肉厚に応じて、横からの力で倒れたり押しつぶされたりしないように保持するのが節の役目です。背の高い竹に節があることで、強風による横からの力が当たってもその力に耐えるように、竹は折れにくく丈夫になり、しなやかなのです。このように、節があることによってしっかりとした作りになり、さらに高く成長していくことができるのです。白川っ子たちにも若竹のように自分自身を丈夫にし、しなやかに、さらに成長させるために、この節目を大切にしてほしいと願っています。二学期までの自分自身を見つめ直して、良かったことはさらに伸ばせるよう、悔いの残ったところは直すよう挑戦するために、この『節目』で「来年の目標(めあて)」を掲げてみましょう。

感染症等にも十分留意されて、今、ここから始まる未来と自分をよりよく変えるためのスタートとなる冬休みにしましょう。よいお年をお迎えください。

<Charcoal grill Challenge Part2> ←12月17日(木)に炭の取り出し

今年一番の寒気が入り、朝から雪景色となりました。5・6年生の子どもたちが、3限目に12月4日(金)窯入れをした樫の原木を取り出しました。13日前(12/4)に入れた原木が炭に変わりました。浅野CS会長さん、林まち協会会長さん、川合前校長先生にお世話になって取出しの準備していただきました。ありがとうございました。次回は竹炭を焼く予定で、商品化において梱包準備やラベル・ポスター作りの学習に入っていきます



<1月の主な行事予定> ※明星第40号(11/13 発行)の確認と追加分の掲載



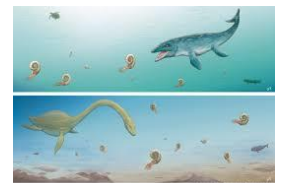
- 1月 1日(金) 元日
 6日(水) 学校閉校日(12/28~1/6)
 7日(木) 冬季休業最終日
 8日(金) 第3学期始業式、地区児童会(11:45一斉下校)
 11日(月) 閉校(成人の日)
 12日(火) 給食開始、4限授業、(13:30一斉下校)
 市小中美術展展覧(体育館にて15日まで)
 15日(金) 向寒運動開始(大縄跳び)
 ※月曜日・水曜日・金曜日の業間
 16日(土) PTA役員選考会
 19日(火) クラリネット演奏会(5限目)
 21日(木) もちつき集会(3・4限)
 25日(月) 児童会委員会



=白川小コラム1=

【Question19】

大昔(おおむかし)、地球上(ちきゅうじょう)の生物(せいぶつ)の多(おお)くが、海(うみ)の中(なか)で生活(せいかつ)していたのはなぜでしょう?
 番号(ばんごう)と理由(りゆう)を考(かんが)えよう!!



- ① 地上(ちじょう)に食(た)べれるものが少(すく)なかった ③ 地上(ちじょう)は寒(さむ)すぎた
 ② 地上(ちじょう)は酸素(さんそ)が少(すく)なかった ④ 地上(ちじょう)は暑(あつ)すぎた

【Answer】

正解は②です

理由は、大昔の地球は、酸素がありませんでした。しかし、地上に植物が増えたため、光合成によって酸素が発生しました。また、オゾン層も今より薄かったため、紫外線の影響で生物が外に出られませんでした。酸素が増えることでオゾン層が厚くなり、紫外線の量が減りました。

ちなみに、紫外線は夏の日焼けをするひとつの原因です。紫外線が強いほど日焼けはひどくなります。近年、温室効果ガスによってオゾン層の破壊が言われています。オゾン層が破壊されていくと紫外線が強くなっていきます。

=白川小コラム2= 【丑年の豆知識!】

来年は丑年ですが、牛と人との付き合いは長く、家畜として昔から親しまれてきたので、丑と牛にまつわることわざ・慣用句・ことばがたくさんありますので一部を紹介します。

□丑三ツ刻

時代劇などでお馴染みの「丑三ツ刻(うしみつどき)」は、丑の刻(午前1時頃から午前3時頃)を4等分した3番目なので、午前2時頃から午前2時半頃をさします。まさに静かにかえった真夜中なので、「草木も眠る丑三ツ刻」などといい、怪談話に欠かせないフレーズとなっています。また、「丑の刻参り」という呪いの儀式も有名です。丑の刻に神社に行き、頭上にろうそくをともし、手には五寸釘と金錠を携え、胸に鏡をつるして、憎い相手を模した藁人形を神木に打ちつけると、7日目に満願叶って呪われた人が死ぬと信じられていました。

□土用の丑の日

うなぎでお馴染みの「土用の丑の日」は、夏の土用(立夏前の約18日間)に巡ってくる丑の日のこと。丑の日は12日ごとに巡ってくるので、巡り合わせによっては2度目の「土用の丑の日」があり、1度目を「一の丑」、2度目を「二の丑」と呼びます。

□牛の歩み/牛歩

歩みの遅いことのとえ。

□牛の耳に経文

いくら説き聞かせても、何の効力もないことのとえ。「馬の耳に念仏」と同義です。

